

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。  
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

正月の七日に七種の野草を摘んで 粥に炊き込んで食べる 七種粥という

宝塚栄光教会では次の集会を行っています。どなたでもお越しください。

**礼拝** 日曜日 午前10:30～11:40  
週の初めの日曜日に、神様に礼拝をささげます。讃美歌を歌い、祈りをささげ、聖書から語られるメッセージに耳を傾けます。

**子どもチャペル** 日曜日 午後1:00～2:00  
子どもたちのために聖書のお話が語られます。  
楽器を使って一緒に楽しく賛美します。  
幼児から中高生が対象です。親子連れでもどうぞ。



## キリストを現代に伝える人たち ～ヴォーリズ～

建物には、それを建てた人の心が現れると言われます。日本各地に今も残り、おごそかな気品と静かなたたずまいを伝える西洋建築の一つに、ヴォーリズ建築があります。

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ(1880-1964)は、アメリカで建築家を志していましたが、あるとき出席したキリスト教の集会で、自分は神様のために働くという決心をします。それまで将来のゴールとして描いていた建築家の道を手放し、神様のことを伝える伝道者となる道を選んだのです。1905年(明治38年)、伝道者となった彼が派遣されたのは、日本でした。滋賀県の近江八幡を拠点とし、学校で英語教師として勤める傍ら、伝道を開始します。ところが、早々に地元の人々からの反発を受け、解任されてしまいます。

しかし、それでくじけてしまうような信仰ではありませんでした。1908年(明治43年)、今度は、クリスチャン企業として建築事務所を開き、他の伝道者たちを支援する活動を始めます。かつて若い頃に夢を手放した彼でしたが、思いもかけない形でその知識と技術を神様によって活かされ、神様の働きに役立てることができた

のです。関西学院大学、同志社大学、神戸女学院などの校舎、各地の教会やキリスト教会館、病院や郵便局・銀行、そして、個人宅に至るまで、彼が手がけた建物の数は1400を超えと言われています。

1919年(大正8年)、華族の令嬢だった一柳満喜子と結婚、その22年後には日本に帰化し、夫人の姓をとって一柳米来留(ひとつやなぎめれる)と名乗ります。「米来留」とは「米国から来て留まる」という彼の決意の表れでした。

「私たちは神のために働く同労者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です」と、聖書にあります。ヴォーリズは、まさに「神のために働く同労者」として、伝道者たちを助け、文字通りの「神の建物」を築いたと言えます。神様はそんな彼の建てたものを祝福してくださったのです。ヴォーリズ建築が今も大切に受け継がれている背景には、一人の人の伝道に対する熱い思いと、挫折にもくじけなかった強い信仰が貫かれていたことに、深い感動をおぼえます。



## 石の心から肉の心へ

新年の初めは、希望と期待に溢れています。“今年こそ…”という決意をもって事に当たろうとします。しかし、たいていその決意も長く続かず、期待も裏切られ、やがて挫折し、“今年もダメだった、まあ、こんなものさ”と諦めてしまうのです。私がそうだったのです。決意新たに意気揚々と始めても、すぐに敗北感に襲われたものです。

新しく出発しようとしておられるあなたに、水を差すようなことを言って、申し訳ありません。私が申し上げたいのは、人が新しくなるのは、表面的な決心や意志の力ではなく、もっと深いところの刷新だということです。

聖書の中にこういう言葉があります。「あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を与える。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。」エゼキエル書36章26節の言葉です。

石の心とは、かたくなで強情な罪の心です。自ら高ぶり、神様を認めようとせず、神様の恵みを受け入れようとしない固い心です。

そのような心を持ったままでは、私たちは必ず滅んでしまいます。しかし、神様は私たちを滅ぼしたくないと願われ、神の子イエス・キリストを十字架におかけになりました。罪のない神の子キリストは、私たちの身代わりに十字架で死なれたのです。このことを信じるなら、私たちは全ての罪から救われます。

救われた魂は、自らへりくだり、神様の恵みを受け入れやすい、柔らかい肉の心となります。新しく造り変えられた魂です。キリストの救いは、この内面の根本的な刷新です。そして、ここがスタートです。ここから全てが始まっていくのです。自分自身が新しくなりますから、周囲にも新しい息吹が吹き込まれます。家庭の中に、職場の中に、学校の中に、新しい風が送られてきます。

あなたは、本当に新しくなりたいと願われますか。それなら、ぜひキリストのもとにおいでください。そして、本当の内なる刷新を体験してください。

この年もあなたの上に、神様の恵みが豊かにありますようにお祈りいたします。

# 宝塚栄光教会 牧師：岩間 洋

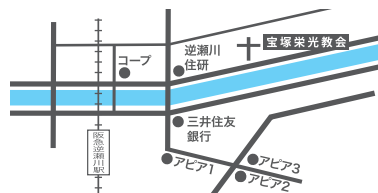
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日  
10:30～11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)  
0797-77-3746  
毎週更新。24時間つながります。  
ホームページからも利用できます。

インターネットでも  
配信中



わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



「冬の川」 — <sup>カラスガワ</sup> 烏川之美 —

北アルプス山麓の烏川溪谷である  
夜が明けたが まだ夜中の寒さが残っているのだ  
冴え光る朝日の美しさに 息をのむ  
寒さが美しいのだ

冬は空気が澄んでいる

水は透きとおっていて 美しい  
静かに流れる 冬の川の流れ  
冬の川は 寒さと美しさを生んでいるのだ

流れている川の水も 凍りながら うずまいている  
美しい冬に驚いている  
天は高く 澄み渡って とても静かである  
今は何も見あたらない  
全部 雪の中にしまい込まれているが  
小さな 小さな芽を見のがさない  
春近し  
寒い風の吹く中で 待ちわびている春である

主に従う人よ 主によって 喜び歌え  
主を賛美することは 正しい人に ふさわしい  
琴を奏でて 主に感謝をささげ  
十弦の琴を奏でて ほめ歌をうたえ  
新しい歌を 主に向かってうたい  
美しい調べと共に 喜びの叫びをあげよ

詩編33編（聖書）